

1 計画の基本方針・基本目標

基本方針 1 市民・来訪者など地域が使える公共交通ネットワークの形成

基本方針 2 多様な主体の連携による地域で支える持続可能な公共交通の体制構築

●地域公共交通の課題

【市街地ネットワークの強化】

- 花輪市街地における高水準なサービスを活かした利便性向上 3-1
- 花輪市街地周辺の公共交通の利用が不便な地区への対応 3-2

【地域間ネットワークの連携・強化】

- 毛馬内地域を中心とした移動への対応 3-3
- 中山間地域の対応 3-4

【広域ネットワークの連携・強化】

- 近隣市町との移動手段の確保 3-7

【利用者ニーズへの対応】

- 利用者ニーズを踏まえた公共交通ネットワークの構築 3-7
- バス停などの情報の分かりやすさ・取得しやすさの改善 3-8
- 多様な媒体の情報発信と適切な情報更新 3-10

【暮らしを支える公共交通の確保】

- 移動手段を持たない通学者や高齢者層に対する公共交通の確保・維持 3-5 3-6 3-12

【関係機関と連携した公共交通の確保】

- 鹿角花輪駅の高い拠点性の維持 3-9
- ICカードの利活用 3-11
- 民間の移動サービスとの適切な連携 3-13
- 地域共働の取組の水平展開、及び市民への周知 3-14

●基本目標

基本目標 1 誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成

- 中心部において、より利便性の高い公共交通サービスを提供し利便性向上を目指します。
- 市内と隣接自治体を結ぶ広域的な公共交通ネットワークや地域内の公共交通ネットワークを地域の実情に応じた運行内容へ見直し、市民の生活や活動を支える移動手段として、確保・維持を図ります。

基本目標 2 分かりやすく・使ってみたくと思える利用環境の充実

- 利用者目線に立ち安心できる待合環境の整備を目指します。また、路線の運行情報・利用方法・乗り換え案内等の情報を充実するとともに多様な媒体で情報を発信することで、分かりやすく取得しやすいサービスの提供を目指します。

基本目標 3 持続可能な公共交通の基盤整備

- 交通事業者（運行・運営）、利用者（運賃収入）、行政（国・県・市町の補助など）で支えることを基本としつつ、公共交通沿線の施設や関係者の協力を得ながら持続性を高める仕組みの構築を目指します。

●施策

施策 1 市街地における公共交通ネットワークの利便性向上

- 事業 1-1 高水準サービス区間の形成
- 事業 1-2 分かりやすい運賃体系の検討
- 事業 1-3 移動の需要に応じたサービスの導入
- 事業 1-4 公共交通とその他の移動サービスとの連携

施策 2 市内外における公共交通ネットワークの利便性向上

- 事業 2-1 広域的な公共交通ネットワークの見直し
- 事業 2-2 地域内の公共交通ネットワークの見直し

施策 3 分かりやすい利用環境の整備

- 事業 3-1 施設と連携した待合環境の整備
- 事業 3-2 利用案内・待合環境の整備

施策 4 関係機関と取組む使いやすい利用促進の展開

- 事業 4-1 利用促進ツールの見直し
- 事業 4-2 福祉や観光等と連携した利用促進
- 事業 4-3 市民と連携した普及啓発活動の実施

施策 5 公共交通の基盤づくり

- 事業 5-1 地域住民との共働による移動手段の確保
- 事業 5-2 利用しやすい車両の導入
- 事業 5-3 ICカードを活用した利用実績の把握

## 2 計画に位置付けた基本目標の中間年の状況について

鹿角市地域公共交通計画で定めた、計画実現のための次の指標について確認を行いました。

### 基本方針1 市民・来訪者など地域が使える公共交通ネットワークの形成

#### 基本目標1 誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成

指標	単位	現況値	中間年	目標値
		令和4年度	令和7年度	令和9年度
市民1人あたりの公共交通の利用回数	回/年	8.9	9.1	8.9

→輸送人員 239,880 人/年度末人口 26,261 人(2月末時点) = 9.1

指標	単位	現況値	中間年	目標値
		令和4年度	令和7年度	令和9年度
公共交通空白地域（自治会単位）の割合	%/年	15.0	15.0	11.4

→交通空白自治会数 28 自治会/全自治会数 188 自治会 = 15.0

#### 基本目標2 分かりやすく・使ってみたいと思える利用環境の充実

指標	単位	現況値	中間年	目標値
		令和4年度	令和7年度	令和9年度
高校生の通学手段に占める公共交通の割合	%/年	12.0	19.2	20.0

→路線バス 9.8 + 乗り合いタクシー 8.1 + 鉄道 1.3 = 公共交通の分担率 19.2 (R7年度高校生アンケート結果より)

#### 基本目標3 持続可能な公共交通の基盤整備

指標	単位	現況値	中間年	目標値
		令和4年度	令和7年度	令和9年度
路線バスの収支率	%/年	25.3	20.5	20.0

→路線バスの運送収入の合計 57,990 千円/運行経費の合計 282,984 千円 = 20.5

## 3 計画の中間評価について

中間年である令和7年度において、鹿角市地域公共交通計画の基本目標に掲げた4項目の指標の状況について確認を行った結果、全ての指標について、目標の達成に向かって順調に推移しております。本市が掲げる基本理念「多様なつながりが生まれ誰もが安全・安心に暮らし続けられるまちの実現」に向け、引き続き計画に位置付けた施策や事業に取り組むとともに、随時、事業内容の改善や検討により、本市に適した持続可能な公共交通の推進を図ってまいります。